

海陽中学校防災クラブ 徳島県海陽町

2年 大畠諒也

僕は、この交流会に参加して、いろいろな人と交流が深められて良かったです。一日目の昼の食事からとても良い食事が出てびっくりしました。とてもおいしかったです。ホテルもよいホテルで過ごしやすいかったです。夕食では隣の席の土成中学校の3年生と仲良くなりました。同じ徳島県民ということもあり、すぐ仲良くなれました。話をしていると土成中学校のすごさがよくわかりました。そのときにあったクラブ紹介では、多くの中学校や消防クラブが発表してくれて取り組みの内容がよくわかりました。僕たちの番が回ってきたときに緊張しすぎて出だしから間違えてしまいました。

二日目の合同訓練ではそれぞれのクラブと競い合いました。ハードルを飛ぶのは問題なかったけれど、くぐるときに頭をぶつけてしまい、倒してしまいました。結果は八位で少し残念でした。

この交流会に参加して、いろいろなことがわかったし、各地域での取り組みのすごさもよくわかりました。このような交流会をまたやっていただきたいです。

2年 百々優志郎

僕は海陽中学校防災クラブとしてこの交流会に参加しました。学校で話があったときに単純におもしろそうだとおもったからです。でも交流会を通して、たくさんのことを学びました。

この交流会では自分たちが防災クラブでやっていることをみんなの前で発表したり、人形浄瑠璃を見たりしました。また、防災センターで煙の中を歩く体験をしたり、地震体験をしたりしました。地震体験では、僕は立っていて冷蔵庫に肩をぶつけてしまいました。合同訓練では、開会式で熱中症気味になったのですが、無事持ちこたえて訓練にも参加できました。結果は八位と入賞には届きませんでしたが楽しめたので良かったです。

今回初めて参加して、八位だったので悔しかったです。次は入賞したいです。



2年 西宮愛美

私は、今回の交流会で学んだことがたくさんありました。特に、西日本各地から集まった人たちとの交流を通し、協力することの大切さを学ぶことができました。やはり、災害が起きてしまったときには、一人で行動するより、二人、三人、とたくさんの人と協力することでたくさんの人の命を守れるんだと感じられました。あとは訓練の重要さもわかりました。

沖縄や広島など各県の人との交流ができたことは、とても自分の中で大きかったと思います。他のクラブの人たちが消防・防災のどのようなところに注目し、それに対してどんな考えを持っているのかがよくわかりました。そして自分たちが今までしてきたことを知ってもらうことができとても良かったと思います。

防災についての意識を高くさせ、知識を増やせる今回の交流会に参加することができてとても良かったと思います。学んだことをこれからの人生に生かし、そしてたくさんの人に伝えることができたらいいなあと思います。私の住んでいる海陽町は地震が起きたらすぐに津波が来ます。そのときには自分が前に出て一人でも多くの命を助けられるように、経験したことを覚えておこうと思います。

TOKUSHIMA



2年 花本 凌

僕はこの交流会を終えて、たくさんの人と交流でき、いろんなことを学べてとてもよい経験となりました。

一日目の食事の時は最初にくじ引きで決めた席に座って食べました。一日目はとても緊張して全然話せませんでした。そのあとのクラブ紹介でも緊張してあまりうまくしゃべれませんでした。でもいろいろなクラブの活動内容などを聞くことができたのでとても良かったです。その後に部屋に戻ってみんなで寝ましたが、なかなか寝付けませんでした。

二日目、朝食を済ませて、いよいよクラブ対抗レースの本番です。まずはじめにリレーにでました。僕は第一走者だったのでとても緊張しました。でも、本番では練習よりうまくいったのでとてもうれしかったです。次に障害物競走をやりました。この最後のロープの結索で、僕はもやい結びを任されていたのですが、手間取ってしまい、大幅なタイムロスをしてしまいました。最終結果は八位でした。僕たちは五位入賞を目指していたので残念でした。その後飯泉知事と海陽町長の五軒家町長と一緒に写真を撮ってもらいました。とてもうれしかったです。

その後徳島県立防災センターで見学やいろいろな体験をさせてもらったり、阿波十郎兵衛屋敷で人形浄瑠璃を見たりしました。とても良い経験になってよかったです。

僕はこの交流会で学んだことを大人になっても生かしていきたいです。そして災害などが起こったら、みんなの役に立てるような人間になりたいです。

2年 山田愛唯

私がこの交流会を通して学んだことは、交流の大切さと知識です。

この交流会にはいろんな地域からたくさんの方が来ていたので、人見知りの私はとても不安でした。しかし、食事の時や合同訓練の時に、知らない人と話したり、人の応援をしたりして少しずつ交流を深めていくことができ、不安も少なくなりました。

災害が起きたとき、知らない人が怪我をしていて助けてあげたり、協力することができるようにするためにはこういった交流が大切だと思いました。

震度7の地震を体験して、足で立ってられないことや家具が倒れてくるともわかりました。私の住んでいる海陽町は地震が起きてからわずかな時間で津波が来ることを知ったり、ロープワークや煙の対処法を学んだりしたことで、災害の知識を増やせることができ、今回の交流会は、とてもいい経験になりました。